

「給食の支えで3年間無欠席」

私はこの3年間、まだ一度も学校を休んでいません。その理由をいろいろと考えた結果、給食にとっても支えられていたことに気づきました。

給食センターの方々が朝早くから、暑い時も寒い時も、私たちのために一生懸命、料理を作ってくださいました。また、私たちの学校では給食の時に、その日使われている野菜や果物を育てていただいた方の名前が放送されます。

それを聞くたびに私は「多くの方に支えてもらっているんだな」といつも思っていました。これまで、たくさんの方に支えられたおかげで、休むことなく学校に來れていると思うと、絶対に給食を残したりしてはいけないと感じ、残さないようになりました。

中学校生活も残りわずかとなり、高校に行けば給食が食べられなくなると思うと、少し寂しい感じがします。しかし、これからも農家の方々や料理を作ってくれた人への感謝の気持ちを忘れることなく、最後のお米一粒まできれいに食べてしまいたいと思います。